

# 国道2号旭橋 補修工事完了

全景



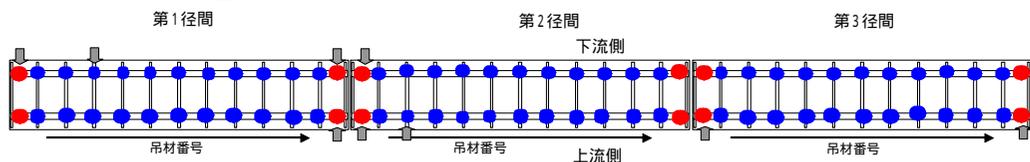
位置図



## 【経緯】

- 6月20日 : 国道23号木曾川大橋(トラス橋)で、鋼材の破断を発見
- 8月27日～ 8月31日 : 国道2号旭橋(アーチ橋)で緊急点検を行い、いくつかの鋼材に表面的な腐食を確認
- 9月7日 : 橋梁の専門家と現地を確認し、上記腐食が橋の安全性に影響を与えるものではないことを確認
- 9月25日～ 12月14日 : 橋梁の安全性の向上と延命化を図るため、全てのコンクリート埋設部材のコンクリートを撤去し、コンクリートを除去した部分の錆の除去と再塗装を行い、モルタルにより埋め戻しました。さらに鋼材とコンクリート境界部から雨水が浸透するのを防ぐため、シール材によるコーティングを行い補修工事を完了

## 【補修箇所】 全78箇所



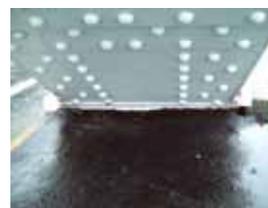
## 【損傷の状況】 (腐食の程度)

製作時のサビ止めペイントが見られるなど、全78箇所とも腐食の程度は軽微でした。

## 【補修方法】

鋼材の防食性を高めるため、腐食部分の錆の除去と再塗装及び腐食の進行を抑制するため、モルタルでの埋め戻しと鋼材とモルタルとの境界部をシール材でコーティングを行っています。

### アーチリブ



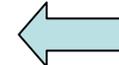
はつり調査前



はつり調査後



補修工事完了



再塗装完了

### 吊材



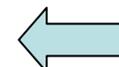
はつり調査前



はつり調査後



補修工事完了



再塗装完了

## 【概算費用】

約22百万円(点検・補修)

# 広島国道事務所が管理する橋梁の概要

## 【今後の方針】

広島国道事務所が管理する橋梁約330橋の平均経年数は約35年と高齢化しており、適宜、適切な時期に補修を行い延命化を図ることが重要な課題となっています。今回の橋梁の損傷事例を教訓とし、定期的な点検により早期に損傷を発見し、計画的な延命化対策に努めていきます。

## 【広島国道事務所管理橋梁数】（平成18年度末）

15m未満 152橋 15m以上 177橋 合計 329橋

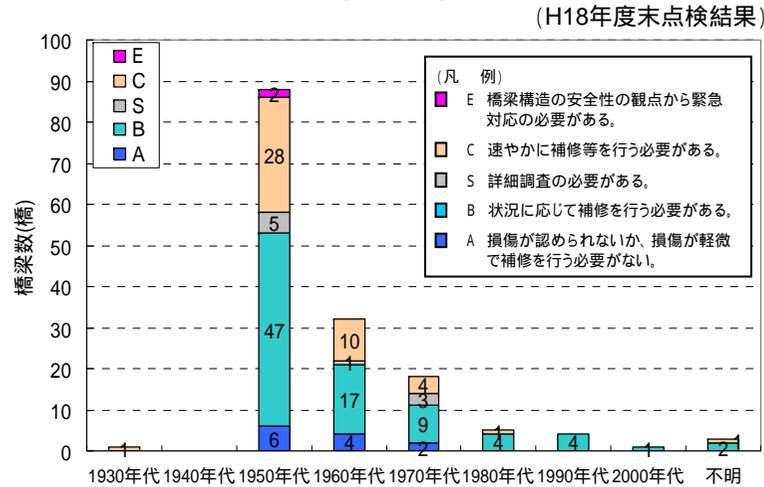
## 【平成19年度補修工事実施橋梁数】

補修工事実施橋梁数：31橋

## 【15m未満：全152橋】

補修が必要な橋梁：45橋（平成19年度以降補修橋梁数）

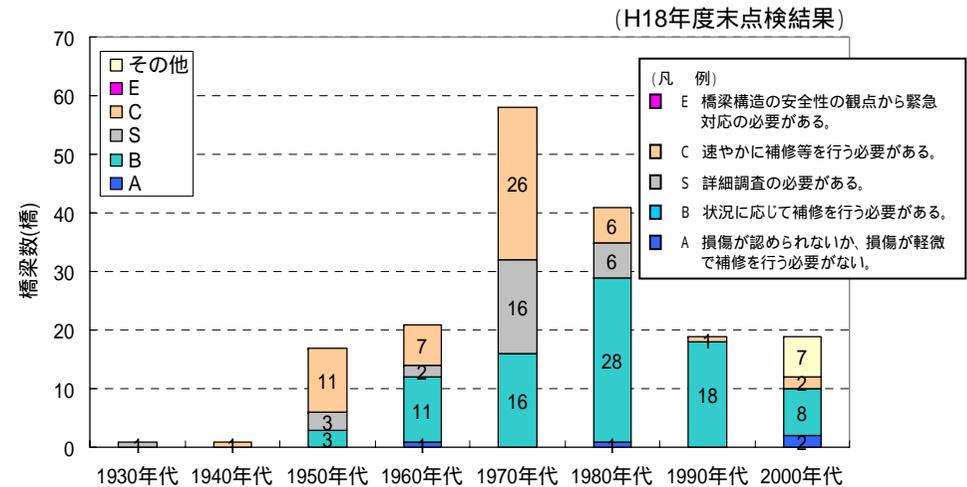
【経年数判定ランク別橋梁数(15m未満)】  
[広島管内]



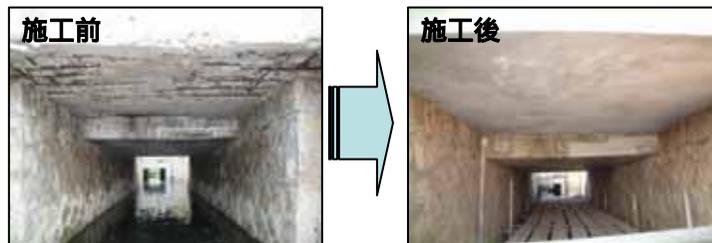
## 【15m以上：177橋】

補修が必要な橋梁：44橋（平成19年度以降補修橋梁数）

【経年数判定ランク別橋梁数(15m以上)】  
[広島管内]



## 【国道2号溝橋（1490）】



【床版剥離、鉄筋露出】  
H19工事

## 【国道2号溝橋（1480）】



【床版剥離、鉄筋露出】  
H19工事